

■建設経済委員会

●平成24年度一般会計予算 —新エネルギー機器導入促進奨励金—

Q 住宅用太陽光発電システムの設置目標を平成28年度までに2,961件としているが、それに向けての年度計画はどのようになっているか。

A 平成18年度から23年度までの設置見込みが711件であり、その後、28年度まで年間300件から550件程度を設置することで、累計2,961件の設置とすることを目標としている。

—誇れるふるさとの川づくりプロジェクト—

Q 今までの活動は、環境の現状を知ることが中心だったが、市民が誇れるふるさとの川とするために、今後、どのような事業展開をしていくのか。

A まずは原野谷川に関心を持ってもらうために、水辺環境学習会などを通して、実際に目で見て触れてもらう機会や講演会などを開催した。平成24年度以降は、水質浄化や保全対策など、川のことを自ら考えていただけるような仲間づくりが進められるよう、関係団体や掛川市、磐田市とも連携をした中で取り組んでいきたい。



誇れるふるさとの川づくりプロジェクトのモデルとなっている原野谷川

■民生文教委員会

●平成24年度一般会計予算 —戸籍住民基本台帳事務費—

Q 住民基本台帳カードが普及していない中で、多額の経費をかけて証明書自動交付機を導入するのは時期尚早ではないか。

A 市民の利便性や経費削減の面からも、住民基本台帳カードの普及や自動交付機のPRに努め、袋井市として、一歩を踏み出すことが大事だと考えている。

※この予算に対し、他市の状況等を十分に検証するとともに住民基本台帳カードの普及率向上に努め、効率的な運営に心がけることを、委員会として要望しました。

●平成24年度介護保険特別会計予算

Q 介護保険の考え方は、高齢者が、在宅で自立した生活ができることが基本であると考えerがどうか。

A 高齢者の6割の方が在宅を望んでいるので、在宅で暮らせるよう、様々な在宅サービスの充実を図っていくとともに、見守りネットワークや介護支援ボランティアなどの活動を、地域とつくりたい。また、介護保険事業では、24時間訪問介護・看護や小規模多機能居宅介護施設などにより、必要なときにいつでも支援できる形を作り、在宅介護が選ばれるようにしていきたい。



小規模多機能型居宅介護事業所「ひなた」